

2年 1組 3班の活動報告です。 永田琴乃 井川琴音

◇ 研究テーマ「ジェンダー平等を実現するには」



【関連するSDGs (アイコン)】

5番 ジェンダー平等を実現しよう

◇ 実践したこと (フィールドワークなどで調べて分かったこと)

・男女格差の現状を調べた

2021年のジェンダーギャップ指数で日本は156か国中120位である。また現在衆議院議員465人中女性は45人で1割にも満たない。出産を機に働くことができなくなる女性が多いが男性の育児休暇は取得がしにくい。

関市は関市LGBTフレンドリー宣言を出している。



岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業認定は家庭と仕事を両立している優良な企業に贈られる。認定された企業では多くの女性が活躍できるよう工夫されていた。

◇ 提案

企業は育児休暇の取得をしやすくし、職場復帰しやすいように支援する必要がある。職場の付近に託児所があると送迎の必要がなくなり、子供の急な発熱などにも対応できる。授乳室などを設置し子連れで出勤できる職場環境を整える。

私たちはジェンダー平等に関する情報に敏感になり、理解を深めることが大切だと思う。家の家事分担を見直す、ジェンダーに関して悩んでいる当事者の立場に立って考えることが必要。

◇ 活動を通じて考えたこと

この活動を通じてジェンダー平等について調べる中で、昔と比べるとどんどん意識が変わっていて、様々な取り組みが行われていることを知ることができた。しかし、世界基準で言えば日本はまだまだ遅れていることも分かった、なので、私たちは自分たちができることを考え少しずつでも実行していくことが大切だと思う。